

令和6年度

松江市立皆美が丘女子高等学校



第3回 学校運営協議会

1 日 時 令和7年3月18日(火)

2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 会議室等

3 会 次 第 (1)2年生まつえ学 市長提言参観 10:00

(2)開 会 11:00

①会長挨拶

②校長挨拶

(3)協 議

①学校評価

②令和7年度学校経営方針

③その他

(4)閉 会 12:00

①校長挨拶

②会長挨拶

③事務連絡等

令和6年度 重点目標についての学校評価
(内部評価及び外部関係者評価)

松江市立皆美が丘女子高等学校

重点目標	分掌・学年会	各部・学年会の重点目標	内 容	教員評価		昨年度		保護者評価		昨年度		生徒評価		昨年度		概評(○)と改善策(○)	肯定的評価の割合(%)	総合評価(※)	昨年度肯定的評価の割合(%)	昨年度総合評価(※)	学校関係者意見
学力の向上	教務部	学習習慣の確立と基礎学力の定着	授業第1の姿勢の定着 教師の授業力・指導力の向上	3.9	79%	3.9	75%	4.0	67%	4.0	64%	4.3	78%	4.4	85%	・「授業第一の姿勢」については、徹底していない。生徒、保護者からの記述意見に、授業がわからない、おしゃべりが多くてさわがしい等の記述があり、授業に臨む姿勢を、生徒教職員ともに考え直さなければならない。 ・「公開授業週間」を年間2回実施したが、全員が参観するという目標は達成できなかった。 ○「授業第一の姿勢」について、繰り返し指導をする。 ○授業がわからないという生徒の声がある。さらなる授業改善を目指して、教科で授業の振り返りを実施し、教員一人ひとりの授業力向上を目指す。	72%	B	75%	A	
	1年学年会	主体的に学び、自ら考える生徒の育成	授業を大切にする姿勢 自ら考える 学習習慣の確立	4.1	79%	3.8	61%	4.1	79%	3.9	66%	4.2	75%	4.3	87%	・授業態度は良好だが、家庭学習の習慣化、提出物の期限厳守など課題が残る。長期的な学習の展望を示し、方針として粘り強く自立を促す。 ○小中の学習事項のとりこぼしを補っていくことも含め、長期的な学習の展望を示すなどして、自立した学習者を養成できるようにする。	78%	A	71%	B	
	2年学年会	主体的に学び、自ら考える生徒の育成	授業を大切にする姿勢 自ら考える 学習習慣の確立	4.0	70%	4.0	85%	3.8	72%	3.9	73%	4.4	89%	4.4	84%	・授業で集中できない生徒も少なくはなく、それが授業全体に影響する場合もあり、授業を大切にする姿勢が十分に養われたとは言えない状況があった。そのため自ら考えて勉強に取り組んだり、課題提出や定期試験等に向けて学習習慣を確立させたりして計画的に学習に取り組む姿勢を確立することに対しても十分ではない生徒もいる。しかし、多くの生徒がそれに向けて努力している状況が見られ、さらに進路実現を具体的に意識するようになり学習状況の改善がクラスや各個人にもみられるようになっている。 ○授業への取り組みの改善、課題提出に対する指導、勉強の楽しさや必要性を伝える。	77%	A	81%	A	
	3年学年会	進路志望の具体化・実現化	確固たる学習習慣の確立 具体的進路選択支援 社会に目を向け理解を深める機会の提供	3.6	48%	3.8	76%	4.0	83%	4.2	82%	4.5	86%	4.6	93%	・教員の肯定的評価が48%と低かった。進路実現に向けて、学習習慣を確立させ、粘り強く努力した生徒も多くなる一方で、学習者として自立できない生徒や、進路決定後に学習意欲が低下する生徒も見られた。 ○卒業後に求められる力を実感し、それらを身につけるために努力を継続する力を育成するような取り組みが必要である。	72%	B	84%	A	
キャリア教育の充実	キャリア教育部	一人一人の特性と希望に合った進路の実現	キャリア教育の実践	4.2	89%	4.2	89%	4.1	79%	4.1	76%	4.4	83%	4.5	90%	・進路希望を明確にさせようという意図は評価に表れていると思われるが、生徒にとっては必ずしもはっきりさせることができていない。学年ごとの差異もあると思われ、1年生は意識の向上がみられ、3年生は3年間で印象に残るものとして進路活動を挙げている者が1/3いた。 ○ねらい・目的をはっきりさせて諸活動に取り組ませること、また自分が望む・望まないにかかわらず、すべての活動が自分を成長させるために必要であることを理解させるような方策を考える必要がある。 ・最低限の情報発信はできている。 ○一般的なキャリア選択の方法に加えて、本校独自の方法(校外就業体験、2年進級時のコース分けの具体的な考え方等)を生徒に提示していく。 ○講演会の記録等のフィードバックを行う。	84%	A	85%	A	
	生徒部	キャリア形成支援	地域活動やボランティア活動への自発的参加	4.3	91%			4.2	79%			4.4	80%			・生徒が自発的に複数のボランティアに参加している。 ○日々の活動を通して、生徒の主体性を育成していく。	83%	A			
	ヒューマンライツ部	図書環境の充実と図書利用の増加	図書館蔵書・備品の充実 読書活動の推進	3.9	72%	4.0	70%	3.5	42%	3.6	44%	3.7	51%	4.0	66%	・図書委員会「図書館だより」、司書通信「金の臺」は計画通り発行できた。 ・国語科や学年会と連携し、読書感想文、読書感想画コンクールを新しい形で実施して、県コンクールへ出品することができた。 ・朝読書用の本の選定や授業で使用する本の準備など、読書活動や学習活動の支援を行った。 ・各学期に1回実施した図書館イベントを成功させることができた。 ○図書委員会の活動を、さらに活性化させる。 ○授業での図書館利用促進のための働きかけを継続して行う。 ○読書活動推進のためのイベントや活動について、より多くの生徒に知ってもらえるよう、教室掲示や校内放送等で繰り返し宣伝を行う。	55%	C	60%	B	
	保健部	心と身体の健康管理	基本的生活習慣の確立 生徒の健康状況の把握と教職員の生徒理解の促進	4.3	97%	4.2	91%	4.2	89%	4.2	86%	4.3	77%	4.5	86%	・生徒の健康状況の把握と教職員の生徒理解への参加において高評価を得た。 ・担任や学年会、SC等との情報共有が密に行えた。 ・支援委員会や職員会議等で情報共有ができた。 ・研修会を通して教職員の生徒理解の意識も向上した。 ・保護者の欠席連絡入力に習慣化し、共有することができた。	88%	A	88%	A	
	1年学年部	自己を受容し、よりよい生き方を探究し続ける生徒の育成	自己を理解し認め、よりよい進路目標の設定を支援	4.3	75%	4.2	79%	4.3	84%	4.2	84%	4.2	79%	4.5	91%	・総合的な探究の時間、各面談等によって、個々の状況に合わせ進めてきた。コース選択においては、生徒本人の主張を第一に考え、その上で面談を重ね、希望をもって選択ができたと考えた。 ○今後、進学、就職に向けて正確な情報を得ること、現実的に進路をイメージさせる。 ○自己の進路に対し、必要な力を選択させる。	79%	A	88%	A	
			部活動、生徒会活動及び学校行事等諸活動への積極的な参加	4.2	85%	4.1	85%	4.2	87%	4.1	85%	4.3	84%	4.5	93%	・学校行事では助け合いながら楽しく取り組むことができた。生徒会活動では、1年生ということもあり受け身な場面が多かったがおおむね良好で与えられた役割をこなすことができた。またボランティア活動では個々の参加が多少見られた。 ○活動の意義や有用性について正しく認識し、より一層活動への参加を促す。	85%	A	85%	A	
	2年学年部	自己を受容し、よりよい生き方を探究し続ける生徒の育成	自己を理解し認め、よりよい進路目標の設定を支援	4.2	76%	4.1	85%	4.1	77%	4.2	89%	4.3	86%	4.5	87%	・キャリア学習やオープンキャンパス参加を通じて、自分の進路希望を次第に確定しつつある状況。生徒・保護者へ面談などを通して情報提供・交換ができた。 ○進路検討会等を通して提供内容を深め、生徒・保護者へと情報を伝え、進路実現を支援したい。	80%	A	88%	A	
			部活動、生徒会活動及び学校行事等諸活動への積極的な参加	4.1	79%	4.2	97%	4.1	76%	4.1	80%	4.5	86%	4.4	84%	・部活動、生徒会活動及び学校行事等に対して、生徒たちは自主的にしっかりと関わって活動してくれたように思う。	80%	A	86%	A	
	3年学年部	社会人基礎力の醸成	最髙学年としてのリーダーシップ発揮	4.3	85%	4.3	93%	4.1	83%	4.4	95%	4.7	87%	4.8	95%	・多くの場面で、互いに支え合い、最上級生として後輩を引っ張ることができた。また、その経験によって視野を広げるとともに、自分自身を見つめ直す機会にもなり、自己有用感を高めることに繋がった。	85%	A	94%	A	
			具体的進路選択支援	4.1	76%	4.1	79%	4.1	86%	4.3	89%	4.6	87%	4.7	98%	・キャリア教育部との連携のもと、多くの教員に補習や個別添削、面接・小論文指導などを担当してもらった。担当者の個別指導の中で、個々の生徒が目標に向かって努力し、進路実現に繋げることができた。	83%	A	89%	A	

令和6年度 重点目標についての学校評価
(内部評価及び外部関係者評価)

松江市立皆美が丘女子高等学校

重点目標		分掌・学年会	各部・学年会の重点目標	内 容	教員評価		昨年度		保護者評価		昨年度		生徒評価		昨年度		概評(・)と改善策(○)	肯定的評価の割合(%)	総合評価(※)	昨年度 肯定的評価の割合(%)	昨年度 総合評価(※)	学校関係者意見
ホスピタリティ精神とコミュニケーション力の向上	総務部	学校行事や各種会議等の効率化及び広報活動の推進とPTA活動の充実	積極的な情報提供及びホームページの充実 円滑な各種会議等の運営及びPTA活動の推進		4.5	88%	4.4	96%	4.2	78%	4.1	73%	4.1	62%	4.1	66%	・ホームページ、Instagramによる広報活動には更なる工夫と改善が必要。 ○「まなびポケット」を使って、「〇〇の情報アップしました」などの通知をする。 ○校内でもたくさんの情報提供をいただくことができ、意識は高めていただいている。今後もつづけて情報提供の協力を仰いでいきたい。 ・PTA活動の周知 ○たとえば学園祭の販売やロードレースのアイス配布、会報発行、人権研修会が、PTA活動である、ということが、特に生徒たちにその認識が薄いと思われる。全校の前で紹介やお礼を述べる機会があれば良いのかもしれない。 ・会議、行事の運営はおおむね良好。総務部以外の教職員の皆様のご協力がなければかなわない。今後も積極的な協力をお願いする。	78%	A	78%	A	
					3.3	30%	3.5	48%	3.7	64%	3.8	68%	4.3	79%	4.4	83%	・生徒の規範意識(みなしなみ等)を育成する必要がある。引き続き課題は多い。 ○生徒に対して、『生活の手引き』に記載されている本校のルールについて、様々な機会を捉えて確認をする。 ○全教職員が『生活の手引き』に記載されている生徒指導に対する共通認識を持ち、生徒個々の事情も理解しながら、機を捉えて指導する。 ○生徒部や生徒会主導で、学校全体で本校のルールを守っていこうとする意識を醸成する働きかけを行う。	58%	C	66%	B	
	生徒部	明るく豊かで活発な生活態度の育成	社会的モラルの向上		4.1	79%	4.1	91%	4.1	78%	4.1	75%	4.5	87%	4.7	93%	・各種講演会を設定し、話す姿勢と広い視野の育成を目指した。 ○本校生徒の実態を踏まえ、生徒が必要とする情報が得られる講演講師の選定と講演講師との事前打ち合わせをしっかりと行う。	81%	A	86%	A	
				学校行事、部活動、生徒会活動への積極的参加	4.3	91%	4.3	91%	4.2	82%	4.2	79%	4.4	86%	4.6	91%	・生徒会執行部と3年生を中心に、学園祭をはじめとする大規模行事に主体的・意欲的に取組、非常に充実した活動を行った。その事が生徒自身の成長にもつながった。 ・生徒会執行部を中心とする生徒主体の活動は、本校の魅力の一つとなっている。 ○生徒がより一層主体的に活動していけるように、生徒部を中心に全教職員で協力して活動を支援する。	86%	A	87%	A	
		人権尊重の支援	望ましい人間関係の実現		4.1	85%	4.1	82%	3.8	57%	3.9	66%	4.2	74%	4.6	89%	・相手の立場になって考える、場面場面ですさわしい立ち居振る舞いができることを目指した。引き続き課題は多い。 ○学校行事や講演会等、全校生徒が集まる場等で機を捉えて指導する。 ○生徒部や生徒会主導で、学校全体でふさわしい立ち居振る舞いをするという意識の醸成する働きかけを行う。	72%	B	79%	A	
	ヒューマンライツ部	教育活動全体を通じた人権教育の推進	人権教育の実践 確かな人権意識の確立		4.1	82%	4.1	91%	4.0	75%	4.0	66%	4.5	86%	4.6	91%	・各学年会と連携した人権教育HRや人権に関わる講演会・研修会を計画通り実施することができた。 ○生徒の実態を踏まえ、人権HRの教材選定や講演会の内容について、毎年検討を行う。 ○人権意識向上のため、さまざまな場面で生徒に働きかけを行う。	81%	A	83%	A	
			各種奨学金の紹介		4.4	91%	4.4	91%	4.1	79%	4.1	79%	4.2	69%	4.4	81%	・各種奨学金の募集案内について、保護者文書の配布・教室掲示・ホームページ掲載等、複数の方法で周知することができた。また、保護者説明会の実施や奨学金申込手続きを計画通り行うことができた。 ○奨学金の募集や申込手続きについて、今後も迅速に、正確に行う。 ○奨学金の募集案内が生徒や保護者が明確に伝わるよう、引き続き複数の方法で周知を図る。	80%	A	84%	A	
	保健部	環境整備と美化活動	清掃の充実とともにホスピタリティ精神の育成		3.9	79%	3.7	70%	3.8	60%	3.8	64%	4.3	81%	4.4	85%	○今年度は清掃体制を刷新したため、賛否両論集まっている。その意見を吟味し、今後より公衆衛生、環境美化の意識向上につながる方法を生徒の意見も取り入れながら勘案中である。まずは教室内・トイレの環境を向上させることに重点をおく方策をとっていく。 ○ゴミの分別、学校に捨ててよいもの悪いものの区別がついていない人も散見され、根気強く指導していきたい。 ○清掃や身の回りの整頓が他人任せになっている生徒が散見される。身辺整理のための時間を確保した上で、黙認をなくすよう声掛けを強化したい。	73%	B	73%	B	
			感染症等に関する健康指導及び性に関する指導の充実	適切な意思決定や行動選択 自他の人格を尊重する心情を育て、望ましい人間関係の構築	4.2	91%	4.0	76%	4.0	71%	4.0	77%	4.2	74%	4.3	78%	・熱中症対策を重点的にに行い、一定の効果が見られた。 ○主体的に、自分で意識的に熱中症やその他の疾病の予防につながるような行動が取れる生徒を増やすよう今後も「ほげんだより」などで情報を提供していく。	79%	A	77%	A	
	国際科	異文化理解と共に生きようとする態度の育成	地域や文化を理解する学習活動の展開・コミュニケーション力の育成		4.2	68%	4.0	74%	4.3	73%	4.2	86%	4.6	79%	4.7	92%	・生徒の8割程度が肯定的な評価をしているが、昨年度より割合は下がっている。様々な活動に対しては、学年により差はあるが前向きに取り組む様子が見られた。 ・教職員および保護者については、「分からない」の回答が例年に比べてかなり多く、評価点自体は昨年度より上昇しているが、肯定的回答の割合は下がっている。 ○一つ一つの活動の目的や意義を丁寧に説明したうえで、生徒自身が納得し、前向きに取り組めるよう指導を工夫する。 ○国際科の活動について多くの先生方に関わってもらえるような仕組みをつくり、保護者に対してもHPやInstagramで広報に努める。	71%	B	84%	A	
	1年学年部	きまりを守ることを大切にして周囲を思いやる、誠実な生徒の育成	互いを思いやり、明るく前向きな雰囲気をつくる		4.2	84%	3.9	67%	4.3	84%	4.2	84%	4.2	79%	4.5	91%	・規律遵守については良好であったと考える。ただし、一部上級生に似う生徒の課題は残されている。「互いを思いやる」、「明るく前向き」、「誠実な生徒」に関しては良い雰囲気の中、少しずつ成長がみられる。 ○服装や提出物、身の回りの整理整頓、言葉づかいなど特に見直し、その意味を理解するとともに良好な人間関係を構築できるよう継続的に指導する。	83%	A	81%	A	
	2年学年部	きまりを守ることを大切にして周囲を思いやる、誠実な生徒の育成	互いを思いやり、明るく前向きな雰囲気をつくる		3.8	64%	3.6	58%	3.9	65%	4.0	75%	4.5	93%	4.5	89%	・服装や言葉遣い等のマナーを十分意識できていない生徒が多い。講演会等での態度は一部の生徒を除いて意識して振舞っている。さらに指導すれば改善していくことが期待される。ただ、生徒間での振舞いや言動等個人間のトラブルのみならず、複数の生徒が関わる重大な事案も生じた。 ○事態が収束していくには様々な方向からの配慮や個人の成長、時間等必要ではあるが、これも含めて学年全体で成長を促す努力が必要。	74%	B	74%	B	
	3年学年部	社会人基礎力の醸成	人権意識を高め、人間関係づくりに必要な能力の育成		3.4	42%	3.5	64%	4.0	83%	4.2	86%	4.6	85%	4.7	97%	・教員の肯定的評価が42%と低かった。一部ではあるが、学校や社会のルールに対して、少しくらいなら破ってもいいだろうと考え、節度ある学校生活を送れない生徒が見られた。また少数ではあるが、自己の気持ちを適切な言葉で表現できず、相手を傷つけたり、不快にさせたりするような言葉を発してしまう生徒も見られた。 ○学期に1回の人権HRの時はもちろん、授業や総合探究、学校行事においても、他者への気配りや敬意を重んじ、コミュニケーション能力の向上をはかる工夫をする。	70%	B	82%	A	
本校に入学して良かったか(教員は勤務して良かったか)					3.7	61%			4.4	89%			4.3	79%			・保護者・生徒評価は高いが、教員評価が低い ○働き方等を見直し改善し、働きやすい環境を作る必要がある。 ○教員・保護者・生徒とも80%以上が肯定評価となるようにしていきたい。	78%	A			
総合評価					【総合評価】 肯定的評価の割合 A・・・良い(75%～) B・・・概ね良い(60%～74%) C・・・あまり良くない(40%～59%) D・・・良くない(～39%)													75%	A	81%	A	

※【教員・生徒・保護者の評価】
5・・・できた・良かった 4・・・ほぼできた・ほぼ良かった 3・・・あまりできなかった・あまり良くなかった 2・・・できなかった・良くなかった 1・・・わからない・答えられない



松江市立皆美が丘女子高等学校

グランドデザイン(令和7年度版)



スクール・ミッション
(社会的役割・使命)

松江への愛着とグローバルな視点で夢を実現し未来を切り拓く力を培うとともに、
松江市の未来の創造に参画するリーダーを育てる

校訓 より広く より高く
(平成15年制定)

スクール・アイデンティティ 自立 創造 共生

めざす学校像 Challengeを育て
Challengeで育てる学校

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- 学ぶことに真摯であろうとする生徒
- 様々な活動に意欲的に取り組み自分を高めようとする生徒
- ルールを守り、自分も人も大切にすることができる生徒

育生したい力

言葉の力
聞き取る力
表現する力

想像する力
俯瞰する力
関連付ける力

協働する力
関係を作る力
自分事にする力

やりぬく力
自己管理能力
計画実行力

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

「学びのその先へ」

普通科	国際コミュニケーション科
2つのコースから選べる学び	語学と異文化体験を通じたグローバルな学び
★総合進学コース★ 共通テストで国公立4年制大学進学を目指す授業の展開	★外国語指導助手(ALT)の複数配置による実践的な英語学習
★キャリアデザインコース★ 高・専・大連携型の実践的な授業の展開 〈4つのエリア分類〉 福祉・医療 家政・栄養 保育・教育 観光・ビジネス	★中国語・韓国語の選択学習 (語学検定取得の奨励)
	★異文化理解・国際交流を基盤とした国際感覚の育成

さまざまな
出会いと
体験を通じた
探究型学習

地域課題探究学習「まっえ学」

★松江の魅力を知る ★課題に気づく ★課題解決に挑戦する

キャリア探究学習「総合的な探究」

★学びを知る ★仕事を知る ★生き方を考える

充実する
課外活動

★ユネスコスクール
★部活動

★生徒会
★ボランティア

協働・連携

★松江市(行政) ★地域 ★企業 ★地元大学・専門学校 ★保護者

松江市を中心とした、地域や関係機関との協働・連携により、教科学習や探究型学習、課外活動等のあらゆる教育活動において五感で感じる体験的な学びの機会を大切にしながら、変化の激しい社会をたくましくかつしなやかに生き抜いていくための力や資質・態度を育成する学校をめざします

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒
- ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒
- 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒

あらゆる教育活動を通して
伸ばしたい資質・姿勢

パフォーマンス
Performance

魅せる

ホスピタリティ
Hospitality

心配る

コミュニケーション
Communication

繋がる